

事業所名

多機能型事業所ゆいまゐる 放課後等デイサービス

支援プログラム

作成日

2025年

2月

3日

法人（事業所）理念	人間の価値は、神に作られた人間として生まれたそのことにある。カナンの園では、キリスト教を基とし、全ての人がお互いの生き方を尊重しつつ助け合って生きていく社会の実現を望んでいます。		
支援方針	お子さんの発達段階に合わせた支援や相談支援を行います。また学校、その他の機関と繋がりながら、お住まいの地域の中でお子さん、ご家族の包括的な支援を目指します。共に安心、安全な地域づくりを行っていきます。		
営業時間	9時	0分から	17時0分まで
	送迎実施の有無	○あり なし	
支 援 内 容			
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭、学校からの引き続きと検温等の健康観察。個々のサインによる体調変化をとらえる。自分の体調変化に気付けるように支援する。 ・食事、排泄リズムなどへの働きかけを通し基本的な生活習慣の整えと情緒の安定につなげる。 ・衣類の着脱、身の回りの清潔、片付け、金銭管理など生活技術の獲得を個々に応じて支援する。 ・構造化を意識した療育環境の整えをおこなう（活動の見通しや掲示物等） 	
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・感覚統合理論を参考にトランポリン、バランスボールなどを使った遊びや運動教室を通し様々な体の動きを体験する。 ・感覚統合理論を参考に視覚、聴覚、触覚、固有覚、前庭覚に働きかける遊びをおこなう（音楽療法、水遊び、雪遊び、トランポリン、スライム、粘土等）。 ・個々の機能や特性に合わせ活動に参加ができる配慮をおこなう。 	
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・友達や大人と協力しておこなうゲーム、調理などを通し、相手の意見を聞いたり、協力する体験をする。 ・玩具や絵本、ゲーム、散歩、季節の遊びなどを通して色の違い、重さ、音の変化、様々な感触などの概念を習得できるように支援する。 ・個々の感覚や認知の偏り、コミュニケーションの困り感に応じ、状況に応じた適切な行動がとれるように支援をする。 	
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・状況や気持ちの代弁をおこない言葉と結びつけていく。 ・絵カードや短い言葉かけなど個々に合わせた言葉の理解や表出を支援する。 ・友達や大人との関りを通し、人と関わる楽しさを感じる。場面に合った言葉、コミュニケーション方法を具体的に知っていく。 ・ことば、視線、表情、ジェスチャー、絵カードなど個々にあったコミュニケーション手段を考え、活用する。 	
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・家族との愛着関係をもとに支援者と安心して過ごせる関係性を築く。 ・気持ちの代弁を通し自分の気持ちの理解につなげ思いに寄り添う。 ・遊びや活動を通してルールや順番を守ること、協力することなどを経験する。 ・個々の困り感への相談に応じ、自分に合った対処方法を知っていく。 	
家族支援	<ul style="list-style-type: none"> ・個別相談 お子さんの発達や現在と将来に向けた支援についての相談。 ・ティチャーズ・トレーニングを支援に生かす。 	移行支援	<ul style="list-style-type: none"> ・教育機関との連携。
地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> ・保育・教育機関、行政、計画相談支援事業所との連携。 ・自立支援協議会への参加 	職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・内部研修（子どもの育ち、療育方法、虐待防止等）の実施。 ・外部機関による支援へのスーパーバイズ。
主な行事等	<ul style="list-style-type: none"> ・外部講師による運動教室、音楽療法・季節に応じた遊びや活動（プール、雪遊び、クリスマス会等） ・誕生会・公園、公共遊戯施設への外出、 ・近隣商店への買い物、外食等 		

事業所名

多機能型事業所ゆいまある 児童発達支援

支援プログラム

作成日

2025年

2月

3日

法人（事業所）理念	人間の価値は、神に作られた人間として生まれたそのことにある。カナンの園では、キリスト教を基とし、全ての人がお互いの生き方を尊重しつつ助け合って生きていく社会の実現を望んでいます。				
支援方針	お子さんの発達段階に合わせた支援や相談支援を行います。また学校、その他の機関と繋がりながら、お住まいの地域の中でお子さん、ご家族の包括的な支援を目指します。共に安心、安全な地域づくりを行っていきます。				
営業時間	9時	0分	17時	0分	送迎実施の有無 あり なし
支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> 来園時の保護者からの引き続きと検温等の健康観察と細かな観察をおこなう。 体を動かし遊ぶ、外遊びで陽の光を浴びること等を通し、食欲や睡眠の安定に働きかけ基本的な生活リズムの整えと情緒の安定につなげる。 衣類の着脱、排泄、身の回りの清潔、片付けなど生活に必要な動作の獲得を個々に応じて支援する。 構造化を意識した療育環境の整えをおこなう（活動の見通しや掲示物等） 			
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> 感覚統合理論を参考にサーキット、鉄棒、マット運動、散歩、リズム運動などを通し様々な体の動きを体験する。 感覚統合理論を参考に視覚、聴覚、触覚、固有覚、前庭覚に働きかける遊びをおこなう（水遊び、雪遊び、毛布ブランコ、トランポリン、スライム、粘土等）。 運動を通しボディイメージを持つ。 季節に応じた製作、子どもの興味のある製作等を通し、巧緻性に働きかける。 			
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> 五感の刺激と大人からの働きかけを通し、遊びの中で物の形・役割、自分と相手の区別などを習得していく。 ごっこ遊びや友達、大人と協力しておこなうゲームを通し、他人の意見を聞いたり、協力する体験をする。 遊びや絵本、散歩などを通して物の大小、色の違い、数量、重さ、音の変化などの概念を習得できるように支援する。 個々の感覚や認知の偏り、コミュニケーションの困り感に応じ、状況に応じた適切な行動がとれるように支援をする。（「貸して」「遊ぼう」「ありがとう」「ごめんなさい」など、保育者を介したやり取りから獲得し、実際の場面につなげていく。） 			
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> 状況や気持ちの代弁をおこない言葉と結びつけていく。 人と関わる楽しさを感じ、相手に伝えたい気持ちと相手に伝えわる喜びを感じる。 運動を通し、自発的な発声を促す。 絵カードや短い言葉かけなど、個々に合わせた言葉の理解や表出を支援する。 ことば、視線、表情、ジェスチャー、絵カードなど個々にあったコミュニケーション手段を考え、活用する。 			
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> 家族との愛着関係をもとに保育者と安心して遊べる関係性を築く。 気持ちの代弁を通し自分の気持ちの理解につなげ思いに寄り添う。 活動を通してルールや順番を守ること、協力することなどを経験する。 			
家族支援	<ul style="list-style-type: none"> 個別相談 子育ての喜び、不安などに寄り添い、お子さんの発達や支援についての相談。 保護者交流会 同じような悩みを持つ保護者同士の交流と情報提供の場を設ける。 ティチャーズ・トレーニングを支援に生かす。 	移行支援	<ul style="list-style-type: none"> 通園先の保育機関との連携。 		
地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> 保育・教育機関、行政、計画相談支援事業所との連携。 外部機関による子どもの発達段階のアセスメント。 自立支援協議会への参加 	職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> 内部研修（子どもの育ち、療育方法、虐待防止等）の実施。 外部機関による療育へのスーパーバイズ。 		
主な行事等	<ul style="list-style-type: none"> 保護者茶話会 				